

テーマ	『適切なアセスメントのために何が必要か』
-----	----------------------

1 達成に向けた手立て

- ・効果的なケース会議の在り方の検討
- ・PDCAサイクルの実践
- ・校内の支援体制の構築

2 取組の成果と課題

成 果	課 題
<p>○効果的なケース会議の在り方の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSWがケース会議の進行を行い、多面的アセスメントができる工夫ができた。 ・BPSモデルなどを活用して、各立場の視点で状況を共有することができた。 <p>○PDCAサイクルの実践について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化する状況に対応することができた。 ・チェック（モニタリング）したことを関係者で共有し、いつまでに、だれが、何をするか整理し、次の手立てにつなげることができた。 <p>○校内の支援体制の構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントに基づいた提案を管理職に行うことにより、組織的・継続的な支援につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●会議の参加者のファシリテート能力やスキルを向上させる。 ●ケース会議が情報共有の場にとどまり、適切な支援計画につなげられない場合がある。 ●効果的なアセスメントを学校の組織的な支援につなげるシステムや方法をさらに検討する必要がある。

3 次年度に向けて

- ・効果的なアセスメントに必要なことを、不登校のケースで実践し、成果と課題を明らかにする。